



JAPAN CEMENT ASSOCIATION

比表面積試験用標準物質

102N

(普通ポルトランドセメント)

証 明 書

この標準物質は、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の比表面積試験において使用するブレン空気透過装置の標準化試験に用いる。

なお、本標準物質の有効期限は、2019年3月とする。

試験所 \ 測定値	JIS R 5201による 比表面積 (cm ² /g)
1	3290
2	3290
3	3300
4	3290
5	3300
6	3310
7	3320
8	3290
標準値 (平均)	3300
標準偏差	11

[備考] 標準値は密度を 3.15g/cm³、ポロシティーを 0.500 として定めた。

2014年9月

一般社団法人 セメント協会
規格専門委員会

< お問い合わせ先 >

一般社団法人セメント協会 研究所 セメント品質保証グループ

〒114-0003 東京都北区豊島4-17-33

電話 03-3914-2694 FAX 03-3914-2690

セメント協会のホームページ(<http://www.jcassoc.or.jp/>)の「お問合せ」からご質問いただいても結構です。

－参考資料－

[均質性]

約 200kg のセメント試料を混合後、本標準物質を作製した。続いて、無作為に均質性確認用試料として 10 試料を採取し、一試験所において、それぞれにつき比表面積を 3 回測定して、10×3 の一元配置の分散分析から F 検定により判定を行った。その結果、信頼度 95%において試料間に有意な差は認められず、試料は均質とみなされた。

(単位：cm²/g)

繰返し	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	3290	3290	3300	3310	3300	3280	3300	3300	3290	3300
2	3290	3290	3320	3290	3300	3310	3300	3320	3310	3310
3	3280	3290	3290	3300	3300	3280	3310	3300	3300	3320

[共同試験の概要]

本標準物質の標準値は 8 試験所参加の共同試験を実施して定めた。

各試験所は 5 試料×2 測定を行い、その平均値を求めた。そして、その平均値の総平均として標準値を定めた。

[共同試験に参加した試験所]

日鉄住金高炉セメント株式会社 商品・品質管理部
株式会社トクヤマ 徳山製造所/南陽工場 セメント製造部
太平洋セメント株式会社 中央研究所
宇部興産株式会社 建設資材カンパニー 技術開発研究所
電気化学工業株式会社 青海工場 セメント・特混研究部
三菱マテリアル株式会社 セメント事業カンパニー 生産部 セメント研究所
住友大阪セメント株式会社 セメント・コンクリート研究所
一般社団法人セメント協会 研究所

以上